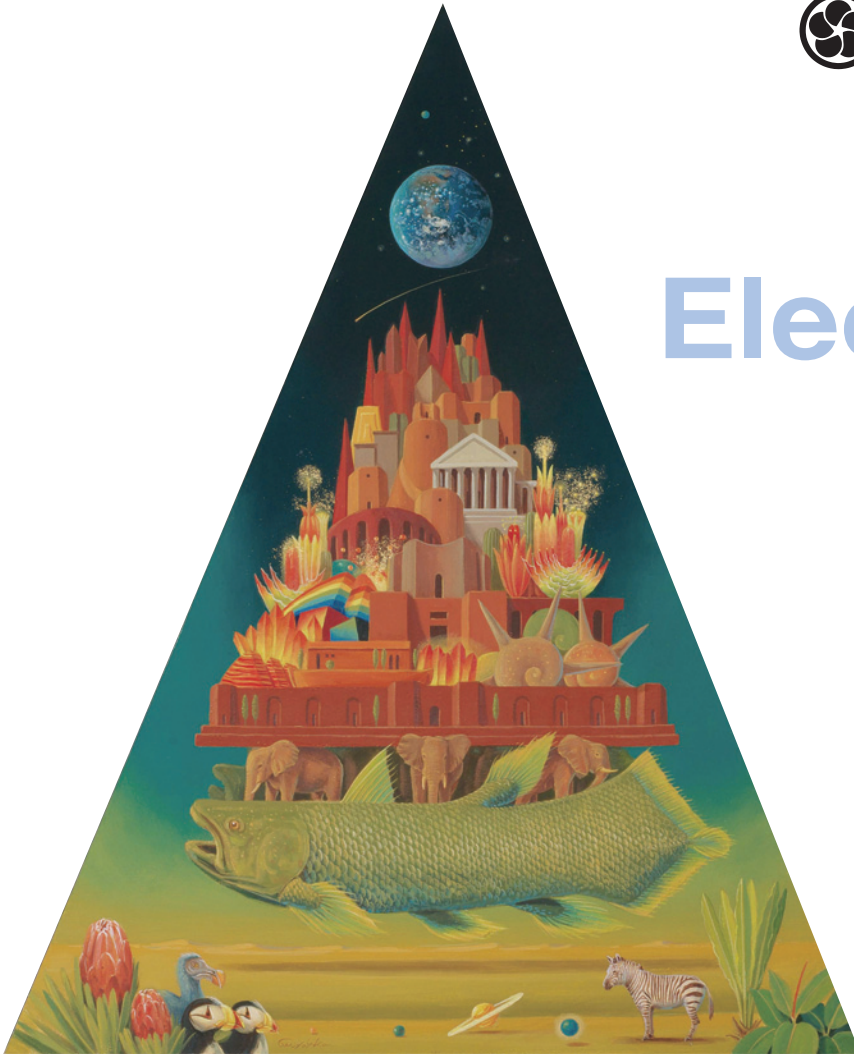


人、未来、エレクトロニクス…



東証一部：証券コード 8154

Kaga Electronics Group Report



宮坂 健《浮かぶ塔の街》

第47期 グループ報告書

平成26年4月1日 - 平成27年3月31日

What's KAGA Group?

経営理念

すべてはお客様のために

加賀電子グループは、創業以来「すべてはお客様のために」という想いを胸に、電子部品の調達を事業の原点として、お客様のご要望にお応えしながら事業領域を拡大してまいりました。私たちは、今後も行動指針である「F.Y.T.」「3G」の精神に則り、エレクトロニクス業界の発展に貢献してまいります。

加賀電子グループの行動指針

F.Y.T.

【ファイト】

Flexibility
Young
Try

柔軟性を持って
心の若さを持って
絶えず挑戦

3G

General
Global
Group

あらゆるものを
全世界で
総合力を活かして

『エレクトロニクス総合商社』としてエレクトロニクスに関するあらゆるニーズにお応えします

開発設計をして
欲しい



コンサルテーション ▶

企画 ▶

開発

部品を集めて
欲しい



部品調達

組み立てをして
欲しい



生産

製品を販売して
欲しい



販売

加賀電子グループの事業領域

■電子部品事業

世界最高水準の部品を国内外から調達するだけでなく、EMS^(注)(製品の受託生産)までお客様のご要望に合わせ提供しております。

(注)Electronics Manufacturing Service



■情報機器事業

国内外のPC・周辺機器や自社製品の販売から、電気通信工事、システム構築までワンストップサービスで提供しております。



■ソフトウェア事業

コンピュータグラフィックスの作成やゲームソフトの制作、アミューズメント機器用画像の開発などをしております。



■その他事業

(エレクトロニクスから派生する事業)
エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器やスポーツ用品の販売など多様なニーズにお応えしております。



株主の皆様へ



代表取締役会長 塚本 勲



代表取締役社長 門 良一

時代の変化に対応しながら、 事業の拡大に取り組んでまいります。

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。ここに第47期の事業環境および業績をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、消費税増税にともなう個人消費の停滞や円安による原材料の上昇などの懸念材料はあるものの、政府の経済対策や日銀の金融政策の推進により企業収益が回復し雇用情勢も改善の動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移しました。また、当社グループが属するエレクトロニクス業界は変

化が激しく、ビジネスの多様化は予想を超えるスピードで進んでいます。

このような環境下において当社グループは、行動指針である「F.Y.T.」と「3G」の精神で、時代の変化に機敏に対応しながらワールドワイドなビジネスを展開し、事業の拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。



社長メッセージ

1 当期の事業環境と業績

当期のエレクトロニクス業界は、パソコンや民生電子機器の需要は低迷しましたが、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末市場や車載市場、メディカル・ヘルスケア市場などは好調に推移しました。また、環境・エネルギーやIoT^(注)、ウェアラブル端末などの新市場も成長をみせるなど堅調であったと思います。

このような環境のなかで当社グループは、車載や無線・通信などの成長分野を中心に既存顧客への拡販・新規顧客の開拓、海外ビジネスの拡大に注力してきました。その結果、連結業績は売上高255,143百万円（前期比

1.1%減）、営業利益6,362百万円（前期比24.6%増）、経常利益7,664百万円（前期比31.1%増）、そして、当期純利益は4,416百万円（前期比13.9%増）となり、売上高は減少しましたが利益面では前期を上回る結果となりました。

(注) Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

2 当期の主な取り組みと成果

当期は海外拠点の拡充に積極的に取り組みました。平成25年11月に設立したAD DEVICE (SHANGHAI) CO., LTD.が平成26年4月から日系車載メーカーへの電子部品・半導体の供給を中心とした営業活動を開始しました。同年5月にはインドネシアにKAGA ELECTRONICS INDONESIA, PT、平成27年1月には中国湖北省に湖北加賀電子有限公司をアジアのEMSの拠点として設立しました。おかげさまで、当期の海外ビジネスは非常に好調でした。特に日系メーカーへの電子機器向けEMSビジネスが成長をみせました。当社グループは、電子部品・半導体の販売だけでなくプラスワンの付加価値サービスにより海外ビジネスを積極的に推進していきます。

また、前期に引き続き業績不振グループ会社の再建に取り組み、その成果が当期の業績、特に利益面において反映されました。まだ一部のグループ会社は再建の途上ですが、事業撤退も視野に入れながら他のグループ会社との協業をはかり改善に取り組んでまいります。

3 今後の取り組みについて

平成27年4月から組織変更を行い、新たな体制でスタートを切りました。当期までは、グループの事業をビジネスカテゴリーごとに分けたビジネスユニット経営を導入していましたが、今期からビジネスユニット制を廃止し、統括部門としてG r 経営本部を設置しました。今後はG r 経営本部による一元管理を行い、新たなグループ経営を目指します。

また、当期に引き続き、成長市場や新市場への取り組みを一層強化していきます。その中でも、車載分野での成長が見込まれます。今後、日系車載メーカーは生産を海外へシフトする傾向がより加速すると思われる。当社グループもその流れに乗り、当期はインドネシア、中国・湖北省に拠点を設置し海外の体制を強化してきました。特にEMSなどの付加価値サービスの提供には今まで以上に注力していきます。今後は北米での需要も高まると思われ、車載メーカーの動

向を視野にいれて展開する予定です。

当社グループは、短納期・小ロット・多品種での製品の供給や生産に対応できる体制を整え、世界中で同じクオリティのサービスを提供していきます。

4 株主の皆様へ

この数年の間、エレクトロニクス業界は構造変化が続きそのスピードが加速しています。時代は常に変化し、市場の競争は激しさを増しグローバル化は、さらに加速していきます。その様な環境のなかで、当社グループはお客様のビジネスがいかに成功できるか。そのために必要なことは何かを考え、求められるものすべてにお応えしていくため、行動指針である「F.Y.Tの精神」で、時代の変化をいち早く読み取り、積極果敢に新しいビジネスに挑戦し、一段の業績の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(単位：百万円)

	第47期実績	第48期見込
売上高	255,143	260,000
営業利益	6,362	6,500
経常利益	7,664	7,000
当期純利益	4,416	4,600



[ファイト・スピリッツ]

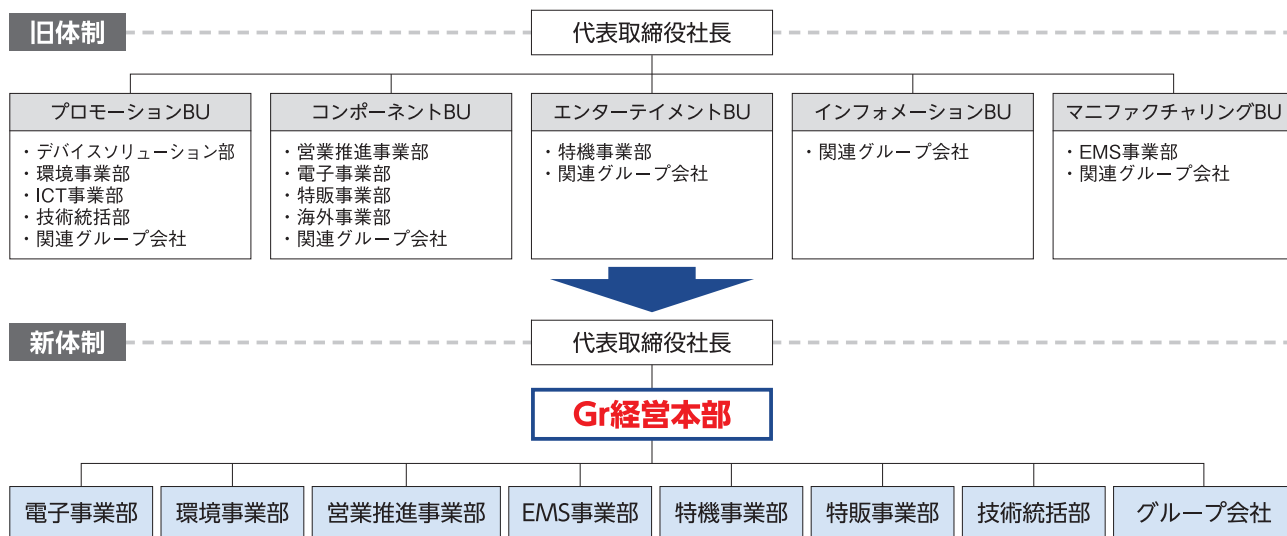
加賀電子グループは、エレクトロニクス総合商社として、つねにあらゆる可能性にチャレンジしてきました。当期におけるF.Y.T.の精神に基づく様々な取り組みをご紹介します。

ファイト・スピリッツ #01

加賀電子グループ新体制 “ビジネスユニット制度からGr経営本部主導へ”

加賀電子(株)は、平成27年4月1日より組織変更を行い、従来のビジネスユニット制度を廃止し、経営統括部門としてGr経営本部を設置し新たなスタートを切りました。今回の組織変更は、加賀電子各部門およびグループ会社の情報

の一元管理、経営判断の迅速化を図ることを目的としています。今後のグループ発展のため経営資源の選択と集中を実施し、さらなる事業の拡大を図ってまいります。



新組織の目的

加賀電子グループの連携機能の強化

Gr経営本部の役割

加賀電子の事業部門および国内外グループ会社の一元管理を行い、グループ全体を統制

Gr経営本部によるグループ全体の統括

真のグループ経営を目指す

湖北加賀電子を設立

KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITEDは、中国におけるEMSビジネスの拡大を目的として平成27年1月9日付で中国湖北省において湖北加賀電子有限公司を設立しました。

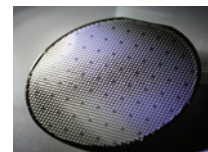
社名	湖北加賀電子有限公司
代表者	俊成伴伯
所在地	中国 湖北省
事業内容	電子機器等の製造および販売



サイコックスが加賀電子グループ入り

シリコンカーバイト (SiC) など半導体基板の開発を行っている(株)サイコックスが平成27年4月2日付で加賀電子の連結子会社となりました。

社名	株式会社サイコックス
代表者	加藤光治
所在地	東京都 千代田区
事業内容	半導体基板の開発・製造・販売



ライトフィールドカメラ 「LYTRO ILLUM (ライトロ イルム)」 取扱開始

加賀ハイテック(株)は、Lytro社 (本社：米国カリフォルニア) の本格ズームレンズを搭載した、ライトフィールドカメラ「LYTRO ILLUM (ライトロ イルム)」を国内代理店として平成26年12月より発売を開始しました。



リフォーカス・イメージ

女子プロゴルファー契約

加賀電子(株)は、女子プロゴルファーの東 浩子選手、大西 葵選手と所属契約を締結しました。



東 浩子選手

生年月日	● 平成4年5月1日
出身地	● 岡山県勝田郡
プロ入り	● 2012年7月27日 (84期生)
主な戦績	● 2012年 LPGA新人戦 加賀電子カップ優勝



大西 葵選手

生年月日	● 平成6年7月13日
出身地	● 千葉県我孫子市
プロ入り	● 2014年8月1日 (86期生)
主な戦績	● 2014年 LPGA新人戦 加賀電子カップ5位タイ

連結売上高 255,143百万円
(前期比1.1%減)

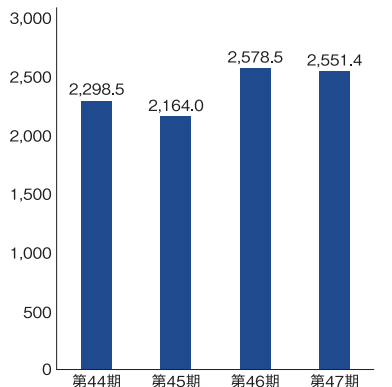
連結経常利益 7,664百万円
(前期比31.1%増)

連結当期純利益 4,416百万円
(前期比13.9%増)

連結売上高

(単位：億円)

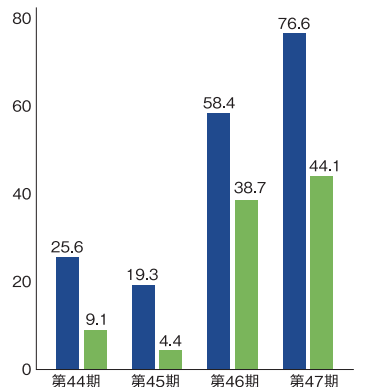
■ 売上高



連結経常利益／連結当期純利益

(単位：億円)

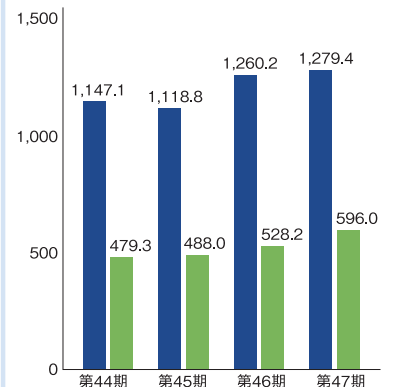
■ 経常利益 ■ 当期純利益



連結総資産／連結純資産

(単位：億円)

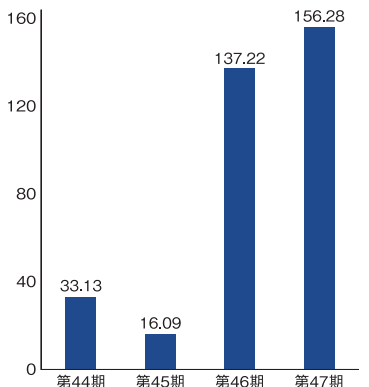
■ 総資産 ■ 純資産



1株当たりの連結当期純利益

(単位：円)

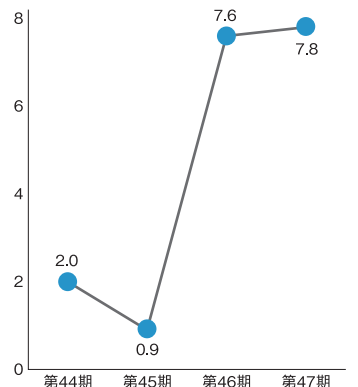
■ 1株当たりの当期純利益



ROE

(単位：%)

● ROE

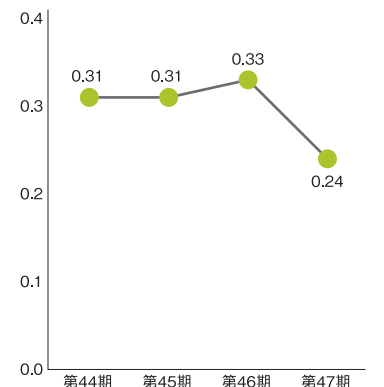


ROE (自己資本利益率)は、株主の皆様への投資を活用した結果どのくらい利益を得たのかを示す指標です。
ROE (%) = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100

D/Eレシオ

(単位：倍)

● D/Eレシオ



D/Eレシオ (Debt Equity ratio)は、有利子負債と自己資本の比で、長期の支払い能力を示す指標です。
D/Eレシオ (倍) = 有利子負債 ÷ 自己資本

連結損益及び包括利益計算書		
	(単位：百万円)	
科目	当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	前期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
売上高	255,143	257,852
売上原価	222,405	225,330
売上総利益	32,738	32,522
販売費及び一般管理費	26,376	27,416
営業利益	6,362	5,106
営業外収益		
受取利息	150	68
受取配当金	95	79
受取手数料	292	219
負ののれん償却額	—	29
為替差益	560	255
受取家賃	116	121
その他	308	251
営業外収益合計	1,522	1,025
営業外費用		
支払利息	117	132
投資事業組合運用損	25	80
その他	77	71
営業外費用合計	219	284
経常利益	7,664	5,847
特別利益		
固定資産売却益	6	613
投資有価証券売却益	28	5
その他	1	—
特別利益合計	36	619
特別損失		
固定資産除却損	25	28
投資有価証券評価損	257	46
減損損失	25	177
関係会社整理損	—	67
事務所移転費用	4	412
和解金	64	—
その他	42	74
特別損失合計	419	807
税金等調整前当期純利益	7,281	5,659
法人税、住民税及び事業税	2,329	2,220
法人税等調整額	525	△ 447
法人税等合計	2,855	1,772
少数株主損益調整前当期純利益	4,426	3,887
少数株主利益	10	9
当期純利益	4,416	3,877
少数株主利益	10	9
少数株主損益調整前当期純利益	4,426	3,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	630	341
繰延ヘッジ損益	23	6
為替換算調整勘定	2,457	1,054
退職給付に係る調整額	54	—
その他の包括利益合計	3,166	1,403
包括利益	7,592	5,290
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,580	5,283
少数株主に係る包括利益	12	7

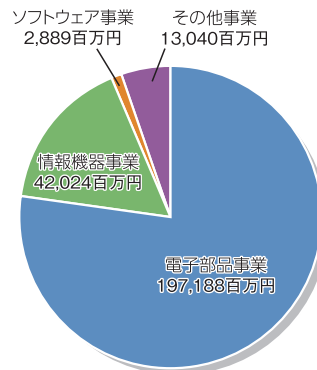
(注) 記載金額単位未満の端数については、ち捨ての方法で表示しております。

当期業績の概要

当社グループは、グループ全体の連携を強化し、既存大手顧客への拡販や新規顧客および新商材の開拓などに努める一方、業績不振子会社の合併および清算などによる不採算事業の見直しや経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度における売上高は255,143百万円（前期比1.1%減）、営業利益は6,362百万円（前期比24.6%増）、経常利益は7,664百万円（前期比31.1%増）となりました。また、当期純利益は4,416百万円（前期比13.9%増）となりました。

セグメント別売上高



情報機器事業

情報機器事業は、Windows XPのサポート終了に伴う買い替え需要によるパソコンの取扱高の増加や住宅向け関連商材などが伸長しましたが、デジタル家電の取扱高が需要低迷により減少しました。その結果、売上高は42,024百万円（前期比9.6%減）となり、セグメント利益は707百万円（前期比18.4%減）となりました。

ソフトウェア事業

ソフトウェア事業は、電子玩具などアミューズメント関連商品の開発の受注が需要低迷により減少しましたが、アニメーションのCG制作やゲームソフトの開発および販売に注力し費用削減に努めた結果、売上高は2,889百万円（前期比12.6%減）、セグメント利益は442百万円（前期比458.0%増）となりました。

その他事業

その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やゴルフ用品販売事業が低迷しました。その結果、売上高は13,040百万円（前期比1.6%減）となり、セグメント利益は169百万円（前期比58.6%減）となりました。

電子部品事業

電子部品事業は、国内における通信機器向け半導体の取扱高が商流変更の影響などにより減少しましたが、海外における電子機器向けEMSビジネスなどが好調に推移しました。その結果、売上高は197,188百万円（前期比1.2%増）となり、セグメント利益は4,852百万円（前期比27.5%増）となりました。

財務諸表（連結）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当 期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	104,424	102,930	流動負債	54,612	63,410
現金及び預金	18,130	14,192	支払手形及び買掛金	40,543	41,695
受取手形及び売掛金	58,167	60,667	短期借入金	5,925	12,172
有価証券	127	114	未払費用	3,377	3,133
商品及び製品	17,276	16,378	未払法人税等	1,286	1,525
仕掛品	401	848	役員賞与引当金	189	174
原材料及び貯蔵品	5,024	3,991	その他	3,289	4,708
繰延税金資産	929	993	固定負債	13,733	9,792
その他	4,497	5,836	長期借入金	8,253	4,681
貸倒引当金	△131	△93	繰延税金負債	1,231	686
固定資産	23,524	23,098	役員退職慰労引当金	1,501	1,437
有形固定資産	12,725	12,625	退職給付に係る負債	1,643	1,954
建物及び構築物（純額）	5,455	5,737	資産除去債務	140	123
機械装置及び運搬具（純額）	2,285	1,711	その他	963	909
工具、器具及び備品（純額）	936	1,004	負債合計	68,345	73,202
土地	4,041	4,038	純資産の部		
建設仮勘定	6	133	株主資本	56,538	52,923
無形固定資産	1,131	1,533	資本金	12,133	12,133
のれん	607	715	資本剰余金	13,912	13,912
ソフトウェア	479	486	利益剰余金	31,029	27,414
その他	44	332	自己株式	△537	△536
投資その他の資産	9,667	8,938	その他の包括利益累計額	3,026	△137
投資有価証券	6,351	5,377	その他有価証券評価差額金	790	161
繰延税金資産	274	562	繰延ヘッジ損益	23	0
差入保証金	846	821	為替換算調整勘定	2,462	5
保険積立金	1,280	1,357	退職給付に係る調整累計額	△250	△304
その他	2,084	1,836	少数株主持分	38	39
貸倒引当金	△1,169	△1,017	純資産合計	59,603	52,825
資産合計	127,948	126,028	負債純資産合計	127,948	126,028

（注）記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成26年4月1日 残高	12,133	13,912	27,414	△536	52,923	△137	39	52,825
会計方針の変更による累積的影響額			188		188			188
会計方針の変更を反映した当期首残高	12,133	13,912	27,602	△536	53,112	△137	39	53,014
当期変動額								
剰余金の配当			△988		△988			△988
当期純利益			4,416		4,416			4,416
自己株式の取得				△1	△1			△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						3,164	△1	3,163
当期変動額合計	—	—	3,427	△1	3,425	3,164	△1	6,588
平成27年3月31日 残高	12,133	13,912	31,029	△537	56,538	3,026	38	59,603

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	前 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,127	3,334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,465	△3,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,431	1,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	977	463
現金及び現金同等物の増減額	4,207	1,482
現金及び現金同等物の期首残高	13,361	11,878
現金及び現金同等物の期末残高	17,569	13,361

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

財務諸表（単体）

単体損益計算書（要旨）		（単位：百万円）	
科 目	当 期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	前 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
売上高	90,138	94,517	
売上原価	80,706	84,443	
売上総利益	9,431	10,074	
販売費及び一般管理費	9,107	9,958	
営業利益	324	115	
営業外収益	2,697	2,199	
営業外費用	177	162	
経常利益	2,845	2,152	
特別利益	370	207	
特別損失	502	1,175	
税引前当期純利益	2,713	1,184	
法人税、住民税及び事業税	793	357	
法人税等調整額	129	148	
当期純利益	1,790	678	

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

単体貸借対照表（要旨）		（単位：百万円）	
科 目	当 期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)	
資産の部			
流動資産	51,018	51,512	
固定資産	22,053	21,636	
有形固定資産	6,563	6,668	
無形固定資産	217	278	
投資その他の資産	15,272	14,689	
資産合計	73,071	73,149	
負債の部			
流動負債	25,610	30,586	
固定負債	10,274	6,906	
負債合計	35,884	37,493	
純資産の部			
株主資本	36,496	35,507	
資本金	12,133	12,133	
資本剰余金	13,912	13,912	
利益剰余金	10,987	9,997	
自己株式	△537	△536	
評価・換算差額等	690	148	
その他有価証券評価差額金	672	148	
繰延ヘッジ損益	18	0	
純資産合計	37,186	35,656	
負債純資産合計	73,071	73,149	

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

三 単体株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
平成26年4月1日 残高	12,133	13,912	13,912	618	7,000	2,379	9,997	△536	35,507
会計方針の変更による累積的影響額						188	188		188
会計方針の変更を反映した当期首残高	12,133	13,912	13,912	618	7,000	2,567	10,186	△536	35,695
当期変動額									
剰余金の配当						△988	△988		△988
当期純利益						1,790	1,790		1,790
自己株式の取得								△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	801	801	△1	800
平成27年3月31日 残高	12,133	13,912	13,912	618	7,000	3,369	10,987	△537	36,496

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成26年4月1日 残高	148	0	148	35,656
会計方針の変更による累積的影響額				188
会計方針の変更を反映した当期首残高	148	0	148	35,844
当期変動額				
剰余金の配当				△988
当期純利益				1,790
自己株式の取得				△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	523	18	541	541
当期変動額合計	523	18	541	1,342
平成27年3月31日 残高	672	18	690	37,186

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

配当金のお知らせ

当社は、長期的視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、連結業績を鑑みながら株主各位に対する安定的かつ継続的な配当の維持を基本方針としております。

期末配当金につきましては、1株当たり15円00銭の普通配当に当期の業績を鑑み、特別配当10円00銭を加えた1株当たり25円00銭とさせていただきます、先の中間配当金1株当たり15円00銭とあわせ年間40円00銭とさせていただきます。

本社 TEL. 03-5657-0111

電子事業部

電子事業部 TEL. 03-5657-0121
 北関東営業所 TEL. 048-667-3321
 北陸営業所 TEL. 076-262-0711
 関西営業所 TEL. 06-6105-0430
 名古屋営業所 TEL. 052-746-6480
 新横浜営業所 TEL. 045-473-7321
 浜松営業所 TEL. 053-457-1661
 福岡営業所 TEL. 092-282-1140
 仙台営業所 TEL. 022-722-7410
 京都営業所 TEL. 075-353-4551
 新潟営業所 TEL. 0258-38-8351

環境事業部

環境事業部 TEL. 03-5657-0129

営業推進事業部

営業推進事業部 TEL. 03-5657-0110

EMS事業部

EMS事業部 TEL. 03-5931-0106

特機事業部

特機事業部 TEL. 03-5931-0102
 特機第二営業部 TEL. 052-746-6481

特販事業部

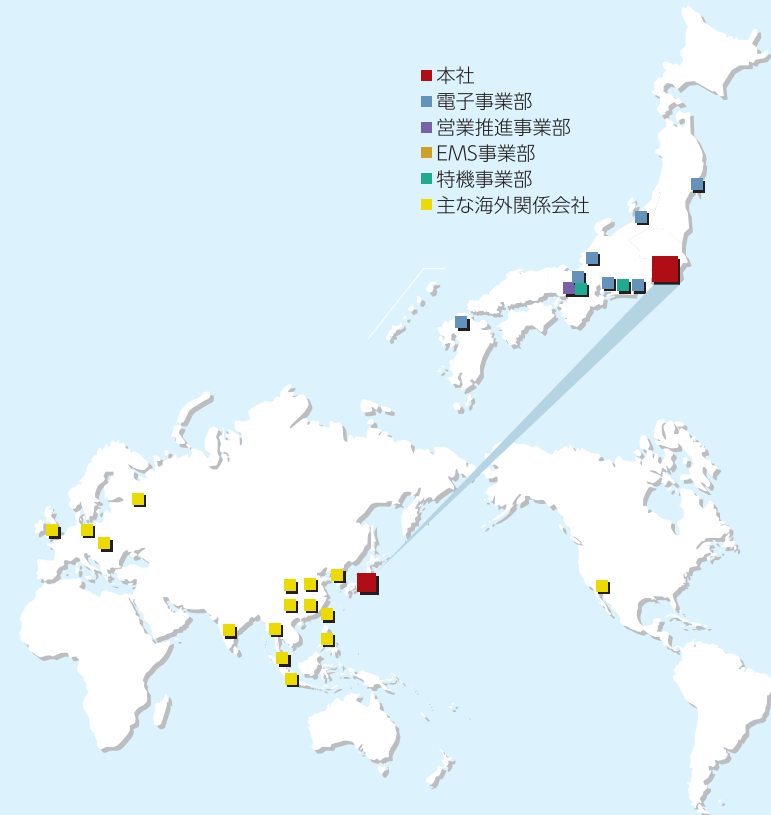
特販事業部 TEL. 03-5657-0123

技術統括部

技術統括部 TEL. 03-5657-0130

主な国内関係会社

加賀テック株式会社 TEL. 03-5657-0140
 加賀デバイス株式会社 TEL. 03-5657-0144
 加賀ソルネット株式会社 TEL. 03-5931-0123
 加賀コンポーネント株式会社 TEL. 03-5931-0160
 株式会社イーディーデバイス TEL. 03-5657-0141
 加賀クワイエット株式会社 TEL. 03-5931-0143
 マイクソリューション株式会社 TEL. 03-5657-0150
 株式会社デジタルメディアラボ TEL. 03-5931-0147
 加賀スポーツ株式会社 TEL. 03-5657-0148
 加賀ハイテック株式会社 TEL. 03-5931-0111
 加賀アミューズメント株式会社 TEL. 03-5931-0134
 株式会社ワークビット TEL. 046-261-3228
 株式会社エスアイエレクトロニクス TEL. 03-5931-0140
 株式会社サイコックス TEL. 03-3525-8804



主な海外関係会社

KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITED
 KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE LTD
 KAGA (KOREA) ELECTRONICS CO.,LTD.
 KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO.,LTD.
 加賀電子(上海)有限公司
 KAGA ELECTRONICS (THAILAND) COMPANY LIMITED

KAGA ELECTRONICS (USA) INC.
 加賀電子(大連)有限公司
 KAGA (EUROPE) ELECTRONICS LTD.
 KD TEC s.r.o.

株式の状況

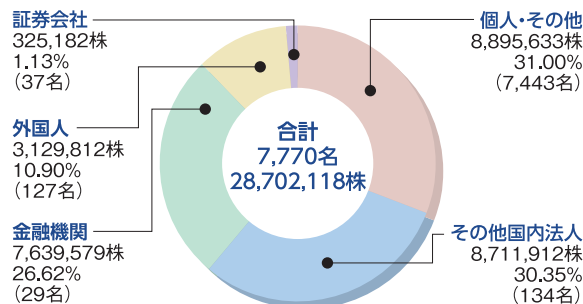
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	28,702,118株
単元株式数	100株
株主数	7,770名

大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三共	3,824	13.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,210	11.18
株式会社OKOZE	1,740	6.06
加賀電子従業員持株会	1,323	4.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,212	4.22
株式会社みずほ銀行	950	3.31
塚本 勲	785	2.73
沖電気工業株式会社	526	1.83
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	511	1.78
三菱電機株式会社	500	1.74

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて記載しております。
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数は、信託業務によるものであります。

所有者別株式分布状況



会社概要

設立	昭和43年9月12日
資本金	121億3,354万円
従業員数	569名 (単体：男395名・女174名)
平均年齢	39.1歳 (男41.4歳・女33.9歳)
事業の内容	当社は、電子機器用エレクトロニクス部品の企画、開発、製造、仕入販売、コンピュータおよび周辺機器・関連部品・付属品・ソフトウェアなどの仕入販売ならびに輸出入を主な業務とし、これに付帯する業務も営んでおります。

役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役会長	塚本 勲
代表取締役社長	門 良一
専務取締役	高橋 信佐
専務取締役	高師 幸男
専務取締役	寛 新太郎
常務取締役	川村 英治
取締役	俊成 伴伯
取締役	野原 充弘
社外取締役	三吉 暉
社外取締役	田村 彰
常勤監査役	亀田 和典
常勤監査役	石井 隆弘
社外監査役	佐瀬 正俊
社外監査役	田中 雄一郎

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (通話料無料)
*平成25年3月15日付の当社とイー・ディ・エム
株式会社との株式交換により当社株式を保有され
た株主様のうち、特別口座でご所有の株主様につ
きましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が特別口
座の口座管理機関となっております。
- 公告方法 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故その他
のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞
(東京)に掲載します。
公告掲載URL <http://www.taxan.co.jp/>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

表紙・絵 宮坂 健 Ken Miyasaka



〈浮かぶ塔の街〉

古代の人々の考えた大地の図に、亀の背に乗った何頭かの象が支える大地というものがあった。我々はすでに知識として、また実際に宇宙船から丸い地球を見てしまい、この台地が宇宙に漂う小さな星のひとつであることを知ってしまっている。それでも時折、この台地の下にいるかもしれない巨大な象のことを考えると、想像の翼は果てしなく、私の心をいつも見知らぬ世界へと運んでくれる。

P R O F I L E

作者略歴：1949年生まれ 安井賞展、浅井忠記念賞展、
セントラル油画大賞展、日本青年画家展等

個 展：日本橋三越等

著 書：『地球、旅の記憶』

KAGA ELECTRONICS CO.,LTD.

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地
TEL.03-5657-0111 (代) FAX.03-3254-7131
<http://www.taxan.co.jp/>
東証一部：証券コード 8154



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



JISQ 14001:1996
登録番号 JSAE594



EMS Accreditation
認定番号 RE005